

スーパービジョン支援ツールの使用方法

ツール名	記入・共有・管理
<p>アセスメント確認 ツール</p>	<p>●事前記入： アドバイザー研修終了後、受講者の事例を運営事務局からもらい、アドバイザーは事例を読んで、気になった点や初日全体研修の際に受講者に確認したい点を記入しておく。</p> <p>●共有： 初日全体研修のアセスメント確認演習の際に、受講者がどのような視点でアセスメントやケアプラン作成を行ったのか、確認する。可能な限り一方的な指導ではなく、受講者が自分で気づきを得るように誘導する。</p>
<p>サービス担当者会議評価ツール、 モニタリング同行 訪問評価ツール</p>	<p>●事前記入： アドバイザーは事例を読んで、個別同行実習の際に受講者に確認したい点を記入しておく。この時点では情報量が少ないので軽いチェック程度でも構わない。</p> <p>●初日全体研修のアセスメント確認の際に、サービス担当者会議では会議の進行やファシリテーションでどんな点に気を付けたらいいか、モニタリング同行訪問では利用者や家族のどんな点を見たらいいか、受講者に対して助言を行い、同行訪問時に臨む姿勢を統一する。また、初日全体研修の際に、各ツールに追記・修正を行って構わない。</p> <p>●個別同行実習終了後の振り返り時に、事前に気を付けておくべきと考えていた点がどこまでできたか、何が足りなかったか、受講者と共に振り返りつつ、評価ツールに記入して共有する。</p>

スーパービジョン支援ツールは、アドバイザーが受講者へ指導・助言する際のツールであり、アドバイザーが判断に迷ったとき等に使用するものです。そのため記録用紙に空白があることは構いません。記入用紙を埋めることにとらわれずにご活用ください。